真夏の夜の夢　湖底に沈んだ集落を再現

「天若湖アートプロジェクト２０１３ ～あかりがつなぐ記憶～ 」が、日吉ダム（天若湖）にて開催されます。

このイベントは、平成１０年に日吉ダムの建設により、天若湖底に沈んだ５つの集落（約１２０戸）の家々のあかりを、ダム湖面にＬＥＤライトを浮かべ、再現するものです。

ダムを背景に水没集落のあかりが、時空を超えて漆黒の湖面に浮かび上がります。

１．日　時　８月３日（土）、８月４日（日）１９時頃～

２．場　所　日吉ダム（天若湖）
京都府南丹市日吉町天若
（詳細は別紙のとおり）

平成２５年７月２９日

独立行政法人　水資源機構
日吉ダム管理所

発表記者クラブ
京都府政記者室
南丹市政記者クラブ

問い合わせ先
独立行政法人水資源機構　日吉ダム管理所 所長代理　横井 住　所：京都府南丹市日吉町中神子ヶ谷６８ 電　話：０７７１－７２－０１７１

【別紙】

１．行事名　天若湖アートプロジェクト２０１３　～「あかりがつなぐ記憶」～

２．主　催　天若湖アートプロジェクト実行委員会

※実行委員会のほか、市民団体「桂川流域ネットワーク」、ＮＰＯ法人「アート・プランまぜまぜ」、日吉ダム水没移転者協議会、京都造形芸術大学・摂南大学の学生及び教員、地元（日吉町）住民、水資源機構日吉ダム管理所などが協力して開催します。

３．目　的　風景とアートの力によって、水没地域、地元そして桂川流域の人々がともに触れ合うことにより、水没地域の方々の思いと、このダムの意味について、流域市民の相互理解と共感の場を創り出すこと。

４．日　時　８月３日（土）、８月４日（日）　１９時頃～

５．場　所　日吉ダム（天若湖）　京都府南丹市日吉町天若
（詳細は別紙案内図のとおり）

６．内容等　このイベントは、２００５年から毎年８月に実施しており、今年で９回目を迎え、今では、南丹市日吉町の夏の風物詩として定着しています。

始まりは、２００４年に「桂川流域ネットワーク」が実施した「湖面利用アイデアコンテスト」において提案された、ひとりの学生のアイデアをＮＰＯ法人「アート・プランまぜまぜ」が肉付けし、両者が天若湖アートプロジェクト実行委員会を結成して、開催に至ったものです。

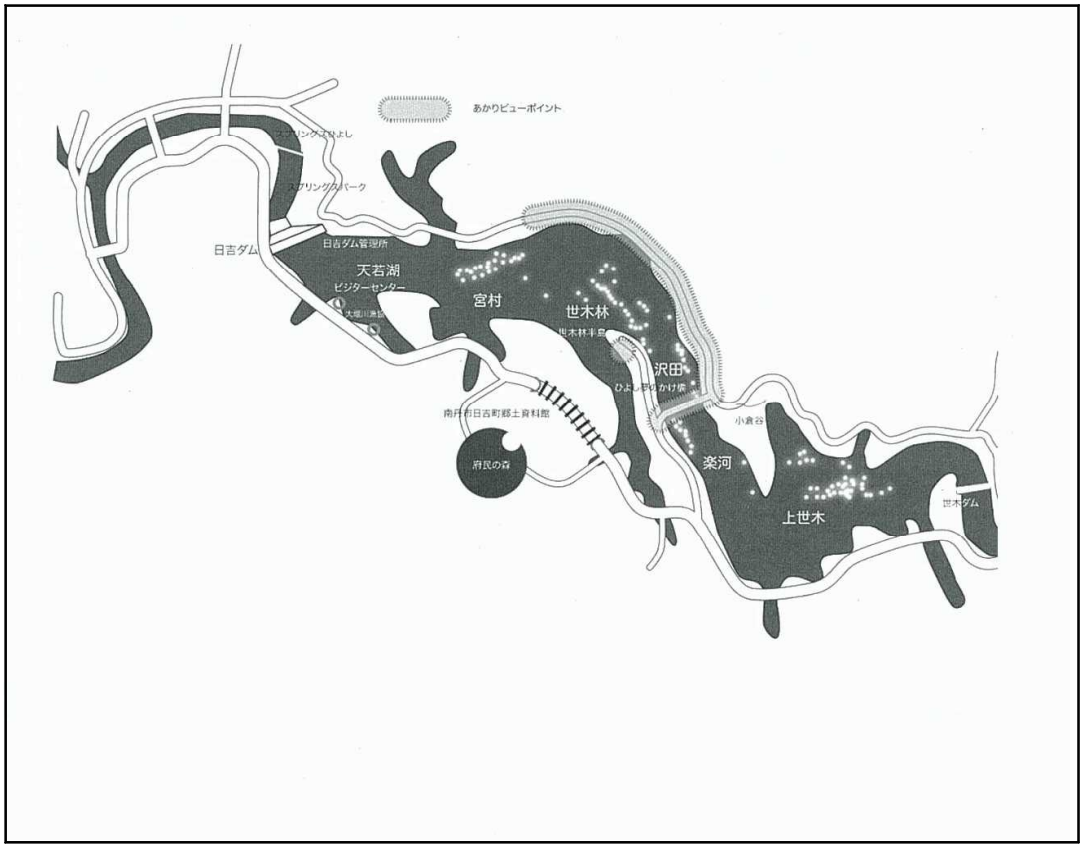
当初は、湖底に眠る２つの集落を夜の湖面にあかりで再現しました。年々、再現する集落を増やし、２００９年からは５つの集落（宮村（みやむら）、世木林（せぎばやし）、沢田（さわだ）、楽河（らくが）、上世木（かみせぎ））全ての約１２０戸の各戸を、ＬＥＤのあかりで再現します。

７．その他　両日、ガイド付き無料観覧バス（所要時間：約２時間）が、ダム直下流の道の駅「スプリングスひよし」発着で運行されます。

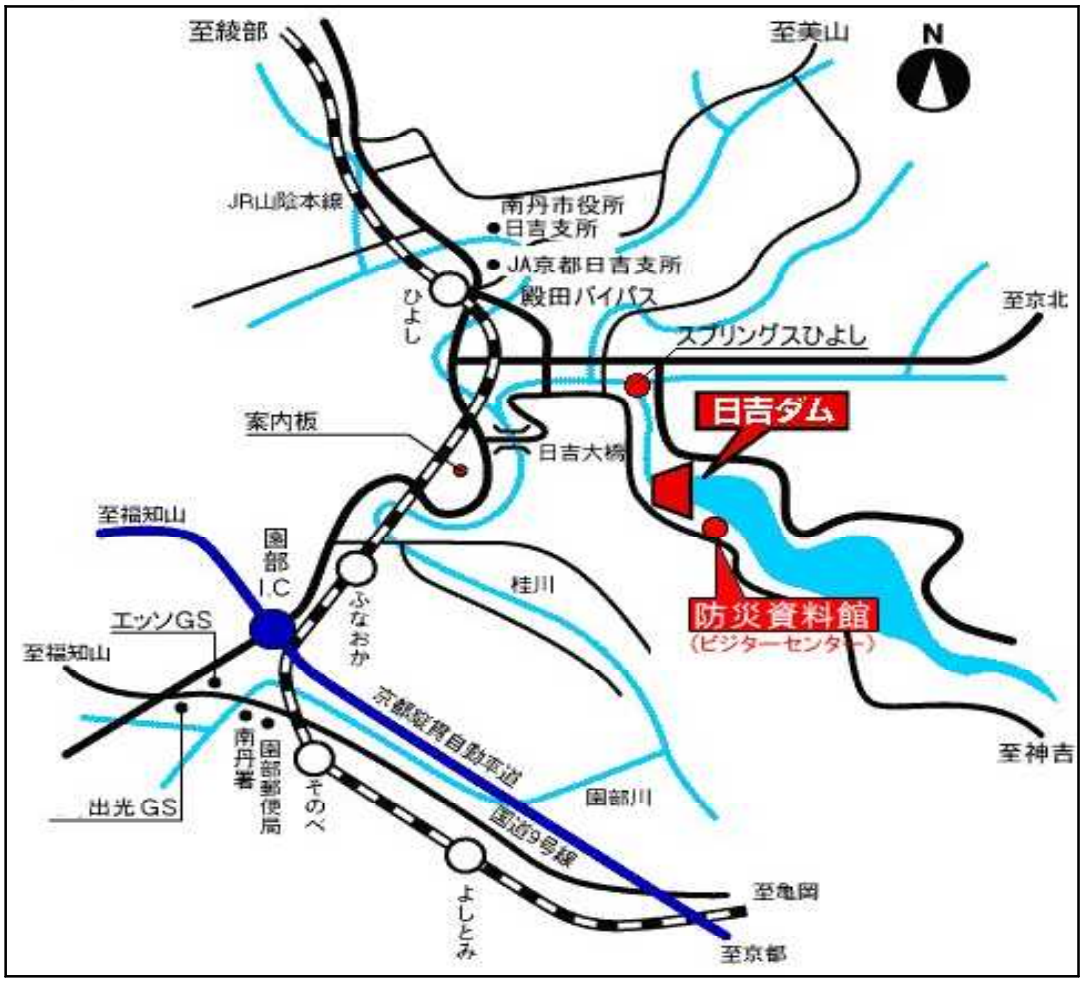
【運行時間】１９時発 → ２０時５５分着
マイクロバス２台（定員約４０名、先着順、予約不要）

８．ｲﾍﾞﾝﾄに関する問い合わせ先　天若湖アートプロジェクト実行委員会事務局
（京都造形芸術大学 環境デザイン学科 下村研究室内）
電話番号：０７５－７９１－９２８９（環境デザイン学科事務室）

【集落と「あかり」設置箇所】



【案内図】



【参考】昨年の天若湖アートプロジェクト２０１２「あかりがつなぐ記憶」

あかりがつなぐ記憶

天若湖アートプロジェクト2013

8/3(土)・**4**(日) **19**時頃～

京都府南丹市日吉町日吉ダム湖面

Official Blog http://amawakaap.exblog.jp/ **Mail** ama_art@mac.com **TEL** 075-791-9289
Facebook Page https://www.facebook.com/AmawakakoArtProject **twitter** @amawakaAP

あかりがつなぐ記憶 8/3・4(土・日)

日吉ダム天若湖、湖岸より観覧　受付：スプリングスひよし

ダム湖に沈んだ５つの村の広がりが、あかりで蘇ります。
全長４kmにわたる巨大なインスタレーションです。
３日(土)と４日(日)の日没から深夜、湖岸道路の随所から
眺めることができます。 無料
(荒天の場合中止される場合があります)

両日とも19:00発の無料観覧バス(所要時間約２時間)が運行されます(要受付)。観覧バスに接続する送迎バス(JR日吉駅18:45発、18:34同駅着福知山行きに接続)も運行します。
また両日とも南丹市日吉町郷土資料館が、20:00まで特別に延長開館しています。どんな村とどんな暮らしが沈んだのか、確かめてみてください。

水の杜展～天若湖に向き合うこと 8/2～4(金～日)

スプリングスひよし２階ギャラリー

「桂川流域」や「ダム建設」といった天若湖アートプロジェクトのテーマは、ヒューマンスケールでは捉えにくい大きさや広がりを持っています。
しかし、「上流と下流」「過去と未来」をつなぐのは人間の行動や想像力以外にありません。
今年の「水の杜展」は、ダム建設前の天若の暮らしを写真に収めた新保隆久の作品展示のほか、自由な発想でダムの未来を提案する「天若湖妄想大作戦」の展示、新進気鋭の美術家河村啓生とのコラボプログラムを始動することで「ひとりひとりが当事者としてどう天若湖と向き合うことができるのか」を改めて考えます。 無料

杉カフェ presented by 林業女子会@京都 8/3(土)

世木林展望エリア　17:00～21:00

日吉町の木でもある『杉』をある方法を使って大きなキャンドルにします。このキャンドルに灯された炎を囲み、おいしい食べ物を炙りつつみんなでいろんな語らいの輪を広げませんか。
ドリンク＆炙るフード　限定50食　500円（予定）

桂川であそぼう！ 8/4(日)

スプリングスひよし吊り橋下の河原　11：00～15：00

Ｅボート(10人乗りのゴムボート)での川下りや、ストーンペインティングを行います。おとなもこどもも気軽に遊びに来てください。 無料

何はともあれスプリングスひよしへ！

■公共交通機関
JR山陰本線（嵯峨野線）で、「京都駅」から「日吉駅」まで約60分。
「日吉駅」から南丹市営バス日吉ダム線で約10分。

■自動車
京都市内から国道９号西行き～京都縦貫自動車道園部I.C～府道19号経由で、約70分。

●主催：天若湖アートプロジェクト実行委員会　●共催：桂川流域ネットワーク、NPO法人アート・プランまぜまぜ　●後援：京都府、南丹市、南丹市教育委員会、NPO法人近畿水の塾、NPO法人森林再生支援センター　●協力：日吉ダム水没移転者協議会、水資源機構日吉ダム管理所、日吉ダム水源地域ビジョン連絡会、南丹市日吉町郷土資料館、摂南大学澤井ゼミ、摂南大学エコシビル部、カッパ研究会、NPO法人輪音プロジェクト、日吉ふるさと株式会社、ドイツカフェみとき屋、[redacted]（順不同：交渉中の団体を含みます）　●助成：公益財団法人河川財団（河川整備基金）、平和堂財団環境保全活動助成事業資源グラント